


歩こう会会員各位

2024年1月 歩こう会案内

2023年12月16日  
事務局:中岡・中野

- 1.実施日 2024年1月10日(水) **雨天(雪・小雨含む)中止**
- 2.行き先 南宮大社・朝倉山真禪院の散策
- 3.集合 東海道本線「垂井駅」1F北口広場10時25分  
改札口出て右側階段を下りて 1Fへ(タクシー乗場前あたり)(あり)

4.往路JR時刻 (東海道本線)	名古屋	一宮	岐阜	大垣(乗換)	垂井
	9:29発	9:42発	9:52発	10:05着 10:11発	10:18着

- 5.出発と  
順路
- |       |                |  |     |              |
|-------|----------------|--|-----|--------------|
| 10:30 | <b>①垂井駅前広場</b> | 出発   |     |              |
|       | ↓              |  | 10分 | 400m         |
| 10:45 | <b>②垂井の泉</b>   | 小休止(5分)  |     |              |
|       | ↓              |  | 10分 | 600m/1km     |
| 10:55 | <b>③大鳥居</b>    | 通過   |     |              |
|       | ↓              |  | 15分 | 1.100m/2.1km |
| 11:35 | <b>④南宮大社</b>   |  休憩・見学(20分) |     |              |
|       | ↓              |  | 20分 | 900m/3km     |
| 11:55 | <b>⑤朝倉山真禪院</b> | 見学(15分)  |     |              |
|       | ↓              |  | 15分 | 900m/3.9km   |
| 12:10 | <b>⑥南宮大社</b>   | 通過   |     |              |
|       | ↓              |  | 25分 | 1.200m/5.1km |
| 12:35 | <b>⑦パンの森</b>   | (ランチ可)   |     |              |
|       | ↓              | (グルマンヴィタル)   | 8分  | 600m/5.7km   |
| 12:50 | <b>⑧垂井駅</b>    | 解散   |     |              |

6. 昼食 途中、パンの森「グルマンヴィタル」で パン・ピザ・コーヒー等はあります。  
また、垂井駅から8分の大垣駅構内に、おらが蕎麦・サイゼリアなどお店が  
数店あります。乗り換え時間にご利用ください。  
(参加者の合意により、南宮大社参道で軽い昼食と御神酒も有ります)

7.復路JR時刻表 (東海道本線)	垂井	大垣(乗換)	岐阜	一宮	名古屋
	12:56発	13:02発 13:11発	13:22着	13:31着	13:43着

垂井～大垣は 30分毎に、大垣～名古屋は15分毎に電車あり。

- 8.お願い コロナ感染も落ち着いてきましたが、インフルエンザが流行してます  
当日は 感染予防にご配慮いただき、自己対策の上ご参加ください。  
(2020年コロナで中止・2021年実施も参加者6名再々の計画です)  
(今回のお世話役は 子安さん・山田さんです)

## 1. 垂井の泉

岐阜県の名水50選に選ばれた由緒ある泉で、湧き出る清水は涸れることを知りません。古くから和歌に詠まれ「垂井」の地名はここから生まれたといわれています。松尾芭蕉もこの泉を前にして、俳句を残しています。



## 2. 南宮大社

金山彦命を主祭神に、旧国弊大社で美濃国一の宮として、また全国の鉱山、金属業の総本宮として、今も深い崇敬を集めています。社伝では神武天皇即位の年の創建とされ、慶長5年の関ヶ原合戦で社殿のすべてを焼失。寛永19年、三代將軍徳川家光が再建しました。広い境内には本殿、拝殿、楼門等、朱塗りの華麗な姿を並べ、江戸時代の神社様式の代表的な建築物15棟が、国の重要文化財に指定されています。年間を通じ大小50余の祭典が行われ、2月3日の節分祭、5月5日の例大祭、11月12日の金山祭（ふいご祭り）などの神事があります。



## 3. 朝倉山真禅院

春は桜、秋は紅葉の名所として人気があります。行基が創建し南宮神社（今の南宮大社）のなつたと伝えられています。南宮神社同様、関ヶ原合戦の兵火により炎上。家光が再建し、別当寺と明治初年の神仏分離令によって現在地に移されました。境内には県下で最古の梵鐘、国指定重要文化財の本地堂や三重塔、北条政子の寄進と伝わる鉄塔があります。

